

小学部・送 辞

本日は卒業おめでとうございます。

6年生には練習、大会で引っ張って行ってきて助けられました。中学校に行ってもラグビーで鍛えた体と心で頑張ってください。在校生で、これからもエコーを盛り上げて行きたいと思います。

本当にありがとうございました。

平成 23 年 3 月 27 日

秋田市エコー少年ラグビークラブ

小学部 児玉 樹

中学部・謝 辞

暦の上では春とはいえ、肌寒い毎日が続いています。

地震の影響を受け、卒団式は、残念ながら中止もやむを得ないと、あきらめていましたが、無事に開催することが出来、この機会を準備して下さった皆様に感謝しています。

又、交流している鹿折ラグビースクール、仙台ラグビースクールが地震の被害に遭われました。被災地のテレビ映像は、お世話になった両スクールとの思い出と一緒に私の脳裏に映し出されます。一刻も早く元の生活に戻れる様願っています。

私はエコーに 9 年間在籍し、ラグビーの事は勿論、仲間の大切さ、努力が実った時の達成感など、様々なことを学びました。そんなエコーの大切さを改めて認識したのは、中学生になってからでした。

中学校に入学すると、部活動が忙しくエコーの練習に行く機会は減ってしまいました。それでも数少ない練習では、パスの仕方、走るコースなど細かい技術を教えて頂きました。部活動のラグビー部では、走ってばかりだった自分にとってエコーの練習は新鮮で、ラグビーの楽しさを再び教えてくれました。

四月からは秋田中央高校でラグビーをすることになりました。高校でもエコーで学んだことを忘れずにプレーしたいと思います。

最後に自分がここまでラグビーが出来たのはコーチ、一緒に苦楽を共にした仲間、保護者の皆様のおかげです。今まで本当にありがとうございました。

ONE FOR ALL ALL FOR ONE

平成 23 年 3 月 27 日

秋田市エコー少年ラグビークラブ

平成 22 年度中学部主将

山田一樹

小学部・謝 辞

僕は、ラグビーを通じて、エコーの仲間はもちろん色々なチームとの交流によりたくさんの友達と思い出が出来ました。毎年交流をしている、仙台、亘理そして鹿折ラグビースクールの皆さんが今回の太平洋沖地震により大変な被害にあわれております。テレビの映像を見て絶句しました。でも、その後に友達の皆が無事であることを知り「ほっと」一安心しました。今は本当に大変だけれどまた、皆とラグビーが出来る日が一日も早く来ることを願っています。そして今、自分達に何が出来るか。そして今、平和に過ごしていることに感謝し、色々な事に対して悔いの残らぬよう取り組むことです。

エコーの 6 年生（卒業生）はそれぞれ、自分の道に進むけれど皆精一杯頑張っていきたいと思います。コーチの皆さん、今までご指導ありがとうございました。父兄の皆さん、いつも温かく見守ってくださりありがとうございました。これからも迷惑はかけるとは思いますがやさしく、時に厳しく見守っていて下さい。そして心 6 年生の皆さん、エコーをますます盛り立てよう頑張ってください。さらに、僕たちが成しとげられなかった全県優勝を絶対なし遂げてください。最後になりますが、今日は僕たち卒業生の為にお忙しい中この様な会を開いてくださりありがとうございました。

平成 23 年 3 月 27 日

秋田市エコー少年ラグビークラブ

小学部キャプテン 濱野隼也